

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-I-10

4-I-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
	節 I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	10 路線バス運行計画の推進	事業主体	佐渡市交通政策課
		関連団体	新潟交通佐渡(株)
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○繁忙期、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。	
	【事業内容】	○路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。 ○路線維持確保のための公的補助等を行う。	
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	●ダイヤ改正時に事業者間の連携により佐渡汽船の接続を図る。 ●島内路線バスについて、国・県・市による維持管理確保の公的補助を実施する。	
	【30年度実績】	●4月、12月の路線バスダイヤ改正時に佐渡汽船接続に合わせたダイヤ編成を実施した。 また、船舶ドック時の変則ダイヤにも、路線バスの接続を行うなど対応した。 ●島内路線バスについて、国・県・市による維持確保の公的補助を実施した。 また、利用促進策として、H30.4から障がい者への割引拡充、H30.9から学生割引の拡充を実施した。	
課題・今後の取組	【課題】	■利用者、運送収入が減少傾向にあり、路線の維持確保のため利用促進が課題である。 また、車両の小型化による経費の削減も検討し、路線の維持確保に努めたい。	
	【今後の取組】	■路線バスダイヤ改正時には、事業者間の連携により佐渡汽船接続ダイヤを確保する。【継続】 ■島内路線バスについて、国・県・市による維持確保の公的補助を実施する。【継続】	
事業評価	【事業の達成度】	◇計画通りに事業が進んでいることから、B評価とした。 [a・b・c]	
	【事業実施の効果】	[a・b・c]	
	【総合評価】	[A・B・C]	

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。